

伸・魅力通信

幼小中一貫カリキュラムを動かすカリキュラム検討委員会

5月31日に、「**学びづくり**」「**体づくり**」「**心づくり**」「**生き方**」「**特別支援**」「**授業づくり**」の6部会に分かれて「カリキュラム検討委員会」が行われました。この会には、各園・各校の代表者が出席し、2年間をかけて学園の教職員で作成した「幼小中一貫カリキュラム」を「つかう」「なおす」「かえる」について話し合いました。

心づくりのカリキュラム検討委員会では、家庭を巻き込んでいく手立てについて話し合ったり、各園・各校でそろえるところと違いを生かしていくところについて確認したりしました。

生き方のカリキュラム検討委員会では、SDGsの視点で小中をつなげていく可能性について話し合ったり、キャリアパスポートの活用方法について検討したりしました。



学びづくりのカリキュラム検討委員会では、授業の土台である「聞く」「話す」を見える化する方法について話し合いました。加

えて、中学校の具体的な取組を再整理する必要性を確認しました。

体づくりのカリキュラム検討委員会では、アンケートの数値を見ながら「体

を動かすことが好き」の項目で、「あてはまらない」と答える児童生徒が多い理由を考えました。加えて、幼小で様々な遊びを体験することで、中学校の彩雲祭の競技がより豊かになり、自主性が育まれることを確認しました。

特別支援のカリキュラム検討委員会では、「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の有効な活用法について検討したり「合理的配慮」の事例をまとめていくことの必要性を確認したりしました。

授業づくりのカリキュラム検討委員会では、各校の研修計画を確認し、「主体的に学ぶ姿」の評価を学園内で共有する方法について話し合いました。

「幼小中一貫カリキュラム」を使って目指す子どもの姿を共有し、みんなで仕掛けていくことが、各園・各校の安定を創りだし、子どもの健やかな成長へとつながっていきます。

